

## 用語解説（総合計画抜粋）

---

### グリーン・ブルーツーリズム

緑豊かな農山漁村に出かけ、農家民宿などに滞在し、地域の農林水産業・文化・自然を体験したり、地元の人々との交流を楽しむ余暇活動のことです。

日帰りのできる農林漁業体験や、直売所での地産地消の取組なども含まれます。一般的には「グリーン・ツーリズム」と呼ばれますが、千葉県では三方を海に囲まれた自然環境を活かし、農林と水産が一体となって推進するという意味を込めて「グリーン・ブルーツーリズム」と称しています。

---

### 荒廃農地

耕作放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地のことです。

---

### 高病原性鳥インフルエンザ

鶏に対して伝染力が強く、死亡率の高い伝染病です。

---

### 集落営農組織

集落内の農家が、農業生産の全部または一部を共同で実施する営農組織のことです。

---

### 飼養衛生管理基準

家畜伝染病予防法に定める、家畜の飼養に係る衛生管理の方法を示した基準です。防疫や衛生状態の確保、病原体の侵入防止・散逸防止など、畜種ごとに定められています。

---

### 飼料用米

鶏や豚などの家畜の飼料として利用される米のことです。

---

### 森林環境譲与税

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を目的として、市町村が実施する森林整備などに必要な財源を確保するために創設された制度です。

---

### スマート農林業

ロボット、AI、IoTなどの先端技術を活用し、生産性向上や人手不足の解消を目指す農林業です。

---

---

## 農業水利施設

農地に農業用水を供給する用水施設（ダム、ため池、揚水機場、用水路など）や、排水を下流に流す排水施設（排水機場、排水路など）のことです。

---

## 農地の集積・集約

- **集積**：農地の所有や借入れにより、利用面積を拡大すること。
  - **集約**：農地の利用権交換などにより、効率的に作業が行えるように配置を整えること。
- 

## 豚熱

豚・いのししの感染力の高い病気です。

---

## ホールクroppサイレイジ（WCS）

稲の穂と茎葉を一体でロール状にし、フィルムで包んで発酵させ、牛の飼料として利用するものです。

---

## 有機農業

化学合成肥料や農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も使わないことを基本とし、環境負荷をできる限り低減する農業方法です。

---

## 6次産業化

農林漁業者（一次産業の担い手）が、加工（二次産業）や販売・流通（三次産業）にも取り組み、生産物の高付加価値化や経営の多角化を図ることです。

---

## 露地野菜

ハウスなどの園芸施設を使わず、屋外の農地で生産される野菜のことです。

---